

プログラム名	Global Programs 「リーダーシップ・チャレンジ in サイパン (春)」																																																												
実施日	平成 26 年 2 月 20 日 (木) ~ 3 月 8 日 (土)																																																												
実施先	北マリアナ諸島連邦・Public School System (Northern Marianas High School, Gregorio T. Camacho Elementary School, Tanapag Elementary School, Kagman Elementary School, Garapan Elementary School, San Vicente Elementary School, Dandan Elementary School, Oleai Elementary School, William S. Reyes Elementary School, San Antonio Elementary School, Kobleville Elementary School)																																																												
参加者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大学名</th> <th>教職員</th> <th>学生スタッフ</th> <th>学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島経済大学</td> <td>1</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>愛知みずほ大学</td> <td>2</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>京都外国語大学</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>九州国際大学</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>京都文教大学</td> <td>1</td> <td></td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>追手門学院大学</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>山口大学</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>山口学芸大学</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>佐賀大学</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>香川大学</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>松山大学</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>愛媛大学</td> <td>3</td> <td></td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>國學院大學</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>13大学 合計:145名</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table>	大学名	教職員	学生スタッフ	学生	広島経済大学	1		4	愛知みずほ大学	2		6	京都外国語大学	2	4	12	九州国際大学	1	1	4	京都文教大学	1		21	追手門学院大学	2	1	20	山口大学	1	1	9	山口学芸大学			4	佐賀大学			1	香川大学			2	松山大学			7	愛媛大学	3		34	國學院大學			1	13大学 合計:145名	13	7	125
大学名	教職員	学生スタッフ	学生																																																										
広島経済大学	1		4																																																										
愛知みずほ大学	2		6																																																										
京都外国語大学	2	4	12																																																										
九州国際大学	1	1	4																																																										
京都文教大学	1		21																																																										
追手門学院大学	2	1	20																																																										
山口大学	1	1	9																																																										
山口学芸大学			4																																																										
佐賀大学			1																																																										
香川大学			2																																																										
松山大学			7																																																										
愛媛大学	3		34																																																										
國學院大學			1																																																										
13大学 合計:145名	13	7	125																																																										
完了報告	<p>平成 26 年 2 月 20 日から 3 月 8 日まで、UNGL 事業「リーダーシップ・チャレンジ in サイパン」のため北マリアナ諸島連邦サイパン島を訪れた。</p> <p>本研修は、UNGL 事業の Global Programs の 1 つとして、英語を用い、価値観、立場、文化背景などが異なる組織での共同活動を通してリーダーシップを身につけることを目的とするものであった。研修参加学生は、現地の小学校にて自分の得意分野を活かした教育実習を行ったり、同校の教職員等の家でのホームステイ体験を通して、自律性や社会性を養った。</p>																																																												
	<p>【プログラムスケジュール】</p> <p>2 / 2 0 17:35 奥村 (広島経済大学)、入国。その後、レンタカー借用。 ANAKS (教職員宿泊所) の段取り。</p> <p>2 / 2 1 02:20 奥村、迎えに行く。山中・林 (愛媛大学) 入国。 09:30-10:30 スタッフ打ち合わせ 11:00-12:00 現地財界関係者訪問打合せ 13:00-15:00 教育省訪問打合せ 教育実習、ホームステイなどについて最終打ち合わせを行った。 16:00-24:00 スタッフ打ち合わせ 教職員スタッフの担当、細かな日程、調達備品などの確認を行った。</p>																																																												

2 / 2 2

- 09:00 備品調達
Wi-Fi ルーター、文房具他について現地の店舗を回り調達を行った。
- 12:00-15:00 研修先確認
- 16:00 垣鏑（京都文教大学）到着
- 18:00-24:00 スタッフ打ち合わせ
学生受け入れに関するミーティングを行った。

2 / 2 3

- 01:00-08:00 空港での学生出迎え・対応のためスタッフを配置。
岸岡・田中（京都外国語大学）、秦（愛媛大学）、松岡（山口大学）、中西・渡辺（追手門学院大学）と学生スタッフ 8 名、および参加学生がサイパン空港に到着・同入国。
参加者を大型バス 2 台で一時待機先（スポーツコンプレックス）に輸送。
教職員・学生スタッフは ANAKS に輸送。
- 10:00-11:30 教職員・学生スタッフミーティング（プログラム確認）
- 14:00 参加学生の一時的待機先（スポーツコンプレックス）とプログラム開会式会場（ガラパン小学校）にスタッフ配置。
- 14:30-16:30 同小学校にて開会式、ならびにオリエンテーション。
（プログラム開始）
- 16:30 各実習先のホストファミリーのもとへ移動開始。
（6 日間のホームステイがスタート）
- 18:30-24:15 教職員・学生スタッフミーティング

2 / 2 4

- 07:00 6 台のレンタカーで各実習先（小・中学校、高等学校）へ担当スタッフが移動。
- 08:30 各学校での実習開始
- 14:30-16:00 各学校における実習終了後、スタッフによる参加学生へのリフレクション
- 19:00-22:00 教職員・学生スタッフミーティング
- 22:20-24:00 実習先別スタッフミーティング

2 / 2 5

- 07:00 6 台のレンタカーで各実習先へ担当スタッフが移動
- 08:30 各学校での実習開始
- 14:30-16:00 各学校における実習終了後、スタッフによる参加学生へのリフレクション
- 18:00-20:00 教職員・学生スタッフミーティング
- 21:20-22:00 実習先別スタッフミーティング
- 22:10-24:00 学生スタッフミーティング

2 / 2 6

- 08:30 歴史・文化的遺産（バンザイ・クリフなど）の見学研修。
- 11:30 同研修 終了
- 12:30 各実習先にスタッフ配置
- 13:00-16:00 各実習先にて日本文化紹介行事の準備
- 19:00-21:00 日本人学生と現地の人々とのスポーツ交流
- 22:00-24:00 実習先別スタッフミーティング

2 / 27		
07:00	6 台のレンタカーで各実習先へ担当スタッフが移動。	
08:30	各学校での実習開始	
14:30-16:00	各学校における実習終了後、スタッフによる参加学生へのリフレクション	
22:00-24:00	教職員・学生スタッフミーティング	
2 / 28		
07:00	6 台のレンタカーで各実習先へ担当スタッフが移動。	
08:30	各学校での実習開始 各実習先にて日本文化紹介行事を実施。	
22:30-23:00	教職員・学生スタッフミーティング	
3 / 1		
11:00	学生スタッフによる全体リフレクションならびに閉会式会場の設営 (カノアリゾートホテル)	
14:00-17:00	全体リフレクション・閉会式	
18:00-21:00	教育省・学校関係者との交流会	
3 / 2		
02:00	教職員 (一部) の帰国に対応	
3 / 3		
09:00-11:30	ヒアリング調査 北マリアナ教育省訪問	
13:00-17:00	ヒアリング調査 北マリアナ日本領事館訪問 北マリアナ連邦省訪問 北マリアナ現地財界関係団体訪問	
19:00-22:00	スタッフミーティング	
3 / 4		
9:30-11:00	ヒアリング調査 Gregorio T. Camacho Elementary School	
12:30-16:00	ヒアリング調査 Tanapag Elementary School Garapan Elementary School	
19:00-22:00	教職員スタッフミーティング	
3 / 5		
9:30-11:00	ヒアリング調査 Oleai Elementary School	
12:30-16:00	ヒアリング調査 William S. Reyes Elementary School San Antonio Elementary School	

18:00-21:00 次年度に向けたスポーツ交流の
デモンストレーション
23:00-25:00 スタッフミーティング



3 / 6
9:30-11:00 ヒアリング調査
Koblerville Elementary School
12:30-16:00 ヒアリング調査
Dandan Elementary School
San Vicente Elementary School
19:00-22:00 スタッフミーティング

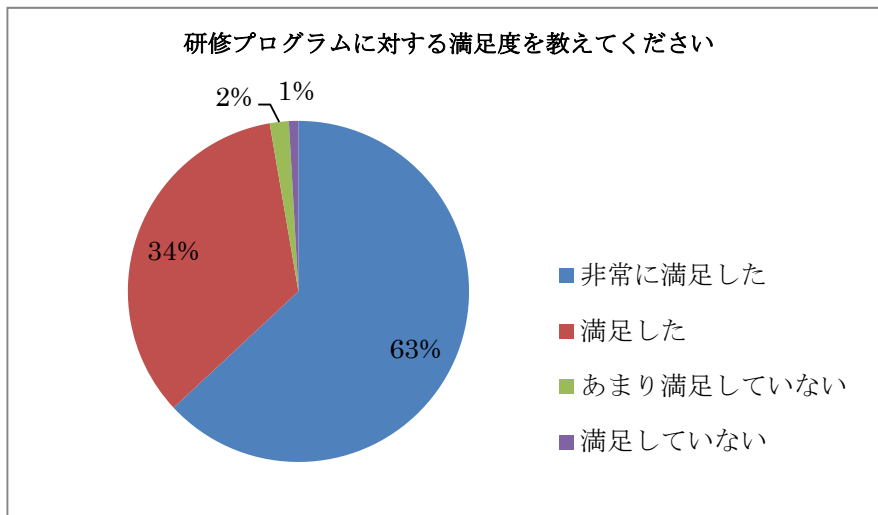


3 / 7
9:30-11:00 ヒアリング調査
Kagman Elementary School
12:30-16:00 ヒアリング調査
Chacha Oceanview Middle School
Kagman High School
18:00-21:00 次年度に向けたスポーツ交流の
デモンストレーション
23:00-24:00 教職員スタッフミーティング

3 / 8
02:00 宿舎出発
04:00 アシアナ便にて関西空港へ出発（秦・山中）

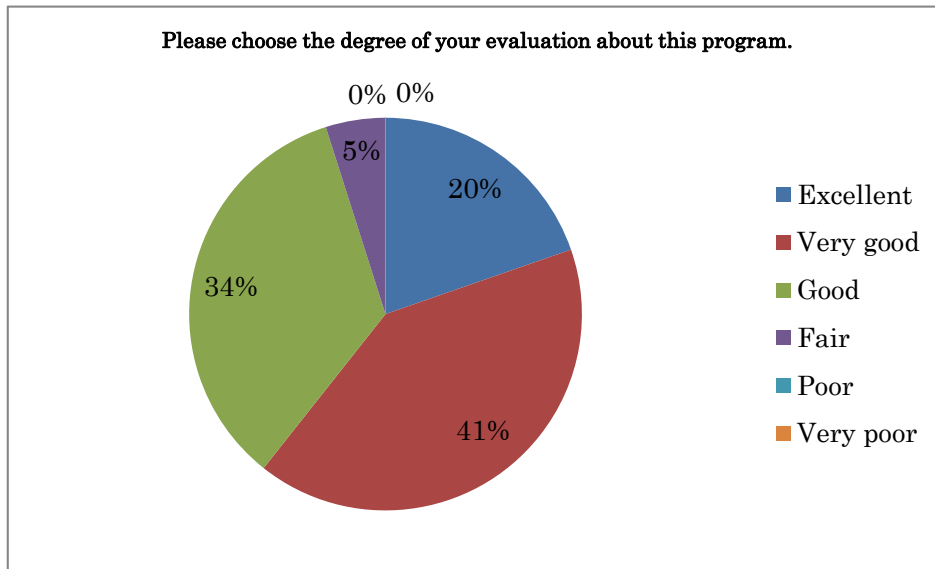
【アンケート結果】

1. 参加学生事後アンケート

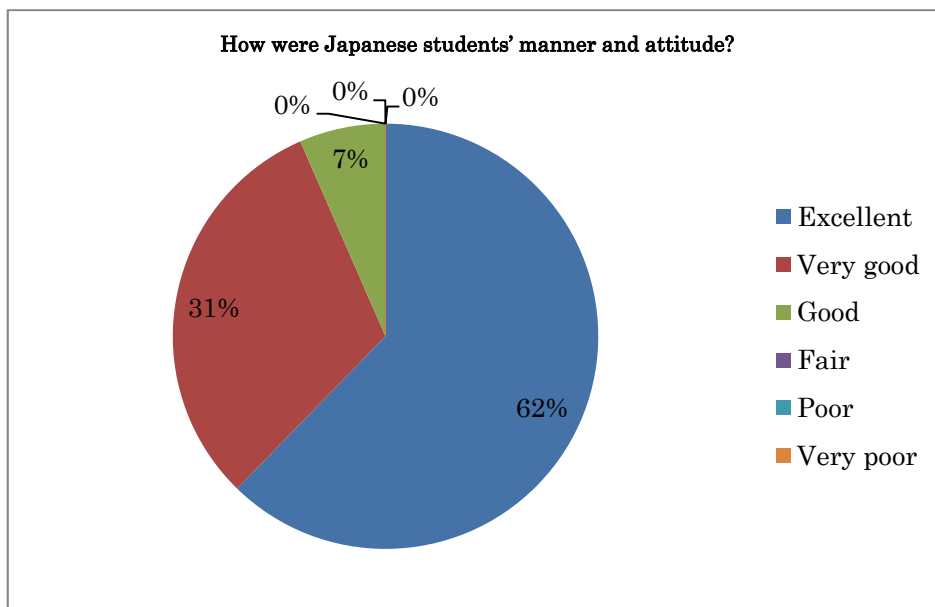


事後アンケートの結果、プログラムに対する参加学生の満足度は 97%超であったことから、彼らのニーズを満たしたプログラムであることを確認できた。

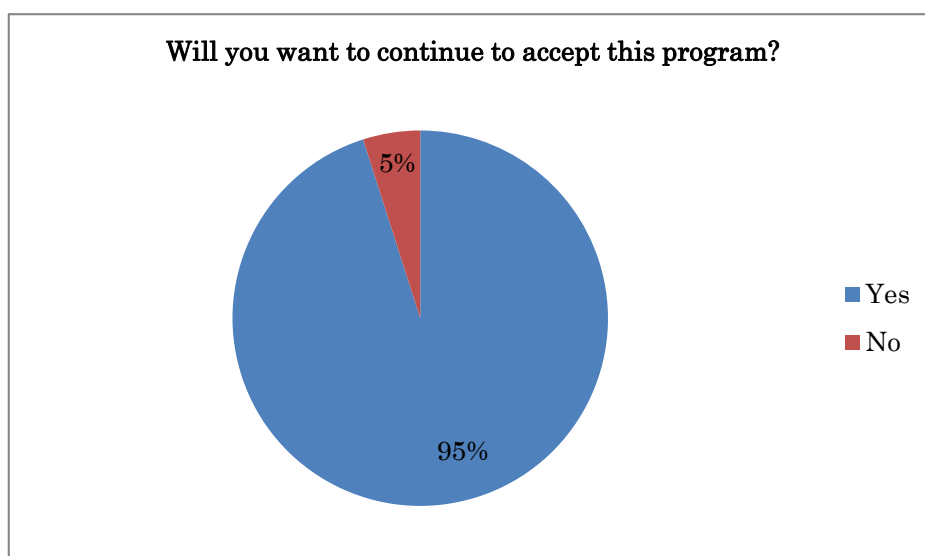
2. 受入先学校の教職員に対するアンケート



受入先となった小・中学校、高校の教職員の回答からは、95%が Good 以上の評価を付したことを確認できた。このことから、当プログラムが受入先にとっても有益であると認識できた。



上記の通り、日本人学生の態度に対しても高い評価を得ることができた。



このプログラムに対するニーズについては回答者の 95%から継続希望という結果が得られた。非常にユニークな取り組みであるため、十分に理解を得られない場合には否定的な回答となって表れることが推測されたが、上記の結果からは現地でも本プログラムに対する非常に高い関心が向けられており、大学側の学習という側面のみならず、地域貢献的な側面も持ち合わせていることが理解できた。

3. 今後の課題

事後の PSS 及び現地学校とのミーティングから、以下のような意見・感想が得られた。項目を以下に示す。

- ・サイパンの生徒たちにとって、異文化と触れ合う貴重な機会でありとても良かった。
- ・日本人学生の取り組みは、総じて積極的なものであり好感が持てた。
- ・大きな学校では、10 人以上の日本人学生を受け入れることが可能だが、規模の小さな学校においては人数の調整が必要である。
- ・日本人学生の英語コミュニケーション能力の向上。
- ・授業時に用いることのできる非言語コミュニケーション手法の修得。

4. その他

【事後調査のお願い】

Web アンケートを実施し、全学校の関係教職員に対して行った。
非常に高いレスポンスをいただいた。

【契約の締結】

事業実施に関して契約書を交わすことで合意した。内容については、UNGL 側が作成した素案を基に、柔軟な対応が可能となるようにする。

【The Exchange Program For Teachers】

北マリアナ教育省は日本の学校（経営・教育制度など）について興味を持っており、実地調査の実現に向けて調整を行っている。実現の暁には、UNGL 連携・協力校にて対応することを検討している。

[目次へ](#)